

2015年1月9日

会社名 株式会社すかいらく  
(コード番号: 3197 東証一部)  
問合せ先 広報グループ  
(TEL. 0422-37-5310)

## 2014年12月度 すかいらくグループIRレポート

～12月度 連結既存店売上高 101.1%、2014年累計 101.6%を達成。～

### 2014年(既存店)

(%)

グループ合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	102.4%	95.4%	101.8%	105.6%	105.9%	100.0%	100.0%	102.0%	98.7%	101.2%	105.0%	101.1%	101.6%
客数	100.8%	93.8%	98.9%	103.5%	102.2%	97.2%	95.7%	97.9%	94.5%	97.2%	100.4%	95.4%	98.1%
客単価	101.5%	101.7%	103.0%	102.0%	103.6%	102.9%	104.5%	104.2%	104.5%	104.1%	104.6%	106.0%	103.6%
ガスト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	100.7%	95.3%	99.8%	106.9%	106.2%	100.2%	99.0%	100.7%	98.1%	102.4%	107.7%	103.4%	101.7%
客数	99.6%	94.0%	96.9%	104.6%	101.5%	97.1%	94.1%	96.4%	92.6%	97.3%	102.2%	95.0%	97.5%
客単価	101.1%	101.4%	103.0%	102.1%	104.6%	103.2%	105.3%	104.5%	105.9%	105.2%	105.4%	108.8%	104.3%

### 2013年(既存店)

(%)

グループ合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	97.7%	102.1%	101.5%	94.9%	99.9%	103.1%	99.5%	101.8%	99.5%	100.0%	105.1%	103.6%	100.7%
客数	96.3%	100.4%	99.9%	93.9%	98.4%	101.1%	98.5%	100.4%	98.1%	98.2%	104.0%	102.6%	99.3%
客単価	101.5%	101.7%	101.6%	101.1%	101.6%	102.0%	101.1%	101.4%	101.5%	101.9%	101.1%	101.0%	101.5%
ガスト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	97.0%	100.3%	101.9%	95.1%	100.4%	104.9%	100.1%	102.7%	99.2%	99.7%	104.1%	103.1%	100.7%
客数	95.9%	98.7%	100.0%	93.8%	98.3%	102.7%	98.4%	100.7%	97.3%	98.0%	103.8%	102.6%	99.2%
客単価	101.2%	101.6%	101.9%	101.4%	102.1%	102.2%	101.7%	102.0%	101.9%	101.7%	100.3%	100.5%	101.6%

(注1) 上記の数値は速報値ベースです。

(注2) グループ合計の売上高は国内連結ベースの数値であり、海外店舗の売上高は含んでおりません。

(注3) 既存店売上高は18か月以上営業している店舗の日商ベースの数値であり、店舗転換、新規出店、及び消費税の影響が加味しておりません。

(注4) 客単価は顧客1人当たりの支払金額、デリバリーサービスを含む売上高に対する客数の比率。

#### (2014年12月度ハイライト)

2014年12月度の既存店売上高は前年比で1.1%増加いたしました。また、2014年累計では1.6%の増加となりました。過去12カ月のうち10カ月で100%超、6四半期連続で前年を上回っております。

12月度は、北日本・日本海側を中心とした悪天候や、連休が少なかったことによるマイナスの影響がございましたが、フェアメニューが好評だったことなどから売上高は堅調に推移いたしました。積極的なメニュー改革と販促の実施が当社の差別化要因のひとつとなっています。

また、単価については、高単価商品の販売が好調だったこと、サイドメニュー/デザート/ドリンクバーの利用増加などから、前月に引き続き上がっております。

今後も、店舗内外装の刷新(リモデル)、従業員のサービス向上、メニュー改革といった施策を継続し、お客様の総合的な満足度を高められるよう取り組んでまいります。